

# 奥裾花自然園&飯縄山山行報告

【山行日】2022年 5月 21~22日(土日)

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 14,000円

【メンバー】CL:鈴木 SL:大西、安西、飯口、大塚、嶋田、島田、田村、廣瀬、福島、渡辺

21日 曇り時々雨 奥裾花自然園を散策し水芭蕉の花を觀賞し、戸隠へ移動して戸隠神社奥社から戸隠森林自然園を散策後、民宿「りんどう」へ

岩舟支所P5:00=奥裾花自然園 P8:10/8:30~自然園入口 8:45~休憩舎広場 9:00/9:10~今池湿原弁天島 9:25/9:40~展望休憩所 10:00/10:10~こうみ平湿原 10:30~休憩舎広場 10:50/11:00~奥裾花自然園 P11:30/12:10=戸隠神社奥社 P13:00/13:10~戸隠神社奥社 13:40/13:50~戸隠森林自然園 14:20~戸隠神社奥社 P15:05=民宿「りんどう」15:15

山行アンケートで「戸隠蕎麦を食べたい」とリクエストがあり、蕎麦を食べるだけではつまらないので、奥裾花自然園の水芭蕉と飯縄山登山を合わせて宿泊山行を計画した。岩舟支所を5時に出発し、北関



東道から上信越道、長野道を進み長野ICで降りる。長野市内を抜け信州大学前を左折し、鬼無里街道を進んで奥裾花自然園に着く。準備を整えトイレを済ませたら階段を上がり、観光センターや売店に行くがまだ開いていない。小雨が降っており売店の軒下で雨宿りして待ち、8時30分ジャストに入場券を購入しスタートする。水芭蕉の開花時期が年々早くなり、今年は連休頃に見ごろを迎え今は葉が出てしまっているようだ。6月上旬まで運行予定のシャトルバスも運行を止め、歩いて園内を散策するしか出来ない。我々は最初から歩く予定で、舗装道路を賑やかにおしゃべりし

ながら歩いて行く。新緑の中を気持ち良く歩き、途中で戸隠山の岩峰が望め歓声が上がる。休憩舎広場でトイレを済ませ、この先からは砂利道を歩くようになる。すぐ先の分岐に標識があり、右に山道を下ってひょうたん池に向かう。ひょうたん池の畔を歩いて今池コースに進み、広い遊歩道を進むと左下に今池湿原の水芭蕉が見渡せる。確かに緑の葉が出ているが、水芭蕉の白い苞がしっかり残っており皆さん大喜びしていた。ブナの新緑が美しい道を歩き、今池湿原に降りると水



芭蕉が間近に見られ「こんなに凄い水芭蕉は初めて！」と感動していた。湿原の中に浮かぶ弁天島と呼ばれる小高い丘に登り、ベンチに腰かけて小休止する。リンゴや菓子を食べながら水芭蕉を鑑賞し、「ほんといい所だね」と満足そうに話していた。

ここからブナ林コースへ進み、ブナの新緑を楽しみながらのんびり歩く。展望休憩所で休憩を取り、ゼリーや菓子をいただく。さらにブナの原生林を進み、吉池からこうみ平湿原へと向かう。

こうみ平湿原も水芭蕉が湿原一面に咲き、「こんなに水芭蕉が綺麗な場所があったんだね～」と感心していた。水芭蕉を楽しんだら休憩舎広場まで戻り、トイレを済ませて往路を戻り観光センターに着く。



また小雨が降り出し、キャンプ場の炊事場を借りてランチタイムとする。お湯を沸かして各自持参したカップ麺やスープを作り、パンやお稲荷さんをいただく。出汁巻き卵や唐揚げ、キンピラや漬物などが出て、豪華な昼食をいただいた。昼食が済んだら車に乗り、戸隠奥社に向かう。往路を戻って鬼無里で左折し、県道36号線を通って戸隠奥社の駐車場に着く。トイレを済ませたら参道に向かい、広い参道を奥社に向かって歩いて行く。大勢の観光客が歩いており、人波に押されるように進む。隋神門をくぐると杉の老木の並木道になり、神域の雰囲気最も感じられる場所である。

皆さんも厳かな雰囲気を感じながら歩き、石段を登ると奥社に着く。奥社に参拝したら参道を戻り、隋神門の先を右に折れて戸隠森林自然園へ向かう。

最初は樹林帯の道を進み、途中から木製の栈道を歩くようになる。水芭蕉は終わっていて大きな葉が茂り、代わりにリュウキンカの黄色い花が咲いている。10年前の感動は得られず、がっかりしながら駐車場に戻った。ここから今宵の宿「りんどう」までは車で数分で行け、中社の前で左折し直ぐに宿に着いた。宿で落ち着いたら、皆さんは近くの神告げ温泉に向かう。我輩だけ宿の風呂に4時から入り、風呂から上がると皆さんは帰っていた。女性の部屋に集まり、恒例の反省会が始まる。ビールやお酒をいただきながら楽しい時間を過ごす夕食の時間になり、一階の食堂に移動して美味しい夕食いただいた。夕食が済んだら部屋に戻り、明日の山行に備えて早めに就寝した。



**22日 曇り後晴れ 飯縄山西登山口から飯縄山に登り、瑠璃山を經由してスキー場ゲレンデを下って下山し、神告げ温泉で美味しい戸隠蕎麦を食べて帰宅する。**

りんどう 7:15＝飯縄山西登山口 7:35～菅ノ宮 8:15～飯縄神社 9:45/9:50～飯縄山 10:00/10:15～瑠璃山 10:50/11:00～りんどう P12:55/13:05＝神告げ温泉 13:10/13:50＝岩舟支所 P17:10

昨夜の天気予報では10時くらいから晴れの予報に変わり、雨の心配は無くなったので安心する。



6時30分から朝食をいただき、トイレを済ませて出発する。宿の前の道路を左に進み神告げ温泉の前を通り、20分程歩くと飯縄山西登山口に着く。丸太の階段の道を緩やかに登って行くと、尾根上に出てカラマツ混じりの林の中を緩やかに登るようになる。空は明るくなったり暗くなったりを繰り返す、中々青空は見えてこない。途中、林道を横切って少し登ると鳥居があり、菅ノ宮の祠で休憩し水分を補給する。展望が効かない樹林の中を淡々と歩き、次第に傾斜がきつくなる。笹原の道になると道が荒れて歩きにくくなるが、灌木帯の登山道になり視界が開ける。

遠望は効かないが周囲の山々は見え、新緑の山肌が美しい。段々傾斜が増し岩交じりの急坂を登るようになり、ペースは落ちるが着実に高度を上げて行く。南登山道と合流すると岩の多い急坂を登るようになり、やがて飯縄神社があるピークに着く。すぐ先の東側に飯縄神社の社が建ち、皆さん参拝して安全登山を祈願する。登山道に戻り右にほんの少し下って、登り返すと飯縄山山頂に出る。山頂は広く平らで岩が点在し、石仏がいくつか祀られている。晴れていれば大展望が得られるが、あいにくガスが掛かり何も見えなかった。記念写真を撮ったら休憩し、我輩が担いできたプリンを食べ疲れた体を休める。眺望は効かないが、皆さんそれぞれ山頂の風景をスマホに収め下山する。



下山は北側の尾根を進み、すぐ先の分岐を瑠璃山に向かって左に下って行く。山頂の先から残雪の上を歩き、下りで残雪があると厄介だなと思ったが、残雪はここだけで済み安堵する。少し下ると明るくなり、薄日が差して周りの山々が見渡せる。陽射しを受けて木々の新緑が美しく、皆さんが話す声も明るく弾んできた。チゴユリやムラサキヤシオの花も見られ、花に癒されながら気持ちよく下って行く。登ってくる登山者も「天気が良くなって良かったですね！」とあいさつを交わす。最低鞍部まで下り、ここから瑠璃山への登り返しが思いのほか辛い。皆さん無言で登り切り、山頂稜線の分岐を右に少し行くと瑠璃山山頂に出る。晴れて来て展望は良くなったが、戸隠山と高妻山の山頂部には雲が掛かり見ることは出来なかった。休憩してゼリーを食べていると、若者のグループが登って来て賑やかになる。トレイルランのグループで、山頂の集合写真を依頼され撮ってあげた。我々も記念写真を撮ったら下山開始し、分岐まで戻って右に下って行く。尾根を少し下ると右にカーブし、スキー場のゲレンデを下るようになる。正面に戸隠連峰と高妻山ガドーンと聳え、スキー場の周囲の樹林の新緑がとても爽やかである。ゲレンデのコースが右に曲がる所が分岐で、中社の標識を左の樹林帯の道に入る。しばらく樹林の中を下り、ネマガリタケを見つけて取りながら下る。水の音が聞こえるようになると沢に沿って下り、やがて用水の水路に沿って緩やかに下って行く。水路脇にはニリンソウが咲き、とても清々しい道を下って行く。やがて中社スキー場に出て、スキー場の縁を下って行くと民宿りんどうの脇に出る。りんどうの前で靴を履き替え、ご主人に挨拶をしたら車に乗り神告げ温泉に向かう。車で1分も掛からず神



告げ温泉に着き、予約した戸隠蕎麦と山菜天ぷらのセットをいただく。ほとんどの人が大盛りをオーダーし、焼き立てのおやきも食べ食欲旺盛だ。お蕎麦がとても美味しいと好評で、おやきもこの時季だけのニリンソウのおやきとの事である。今回の山行の目的である戸隠蕎麦を美味しくいただき、皆さん満足そうな顔をしていた。売店で山菜やお蕎麦のお土産を買ったら帰路につき、信濃町ICから上信越道に入り岩舟支所に向かう。途中、東部湯の丸SAに寄ってトイレを済ませて買い物し、予定より早く岩舟支所に帰着した。二日間天気は今一であったが、二日間とも計画通り歩け大満足の山行となった。



告げ温泉に着き、予約した戸隠蕎麦と山菜天ぷらのセットをいただく。ほとんどの人が大盛りをオーダーし、焼き立てのおやきも食べ食欲旺盛だ。お蕎麦がとても美味しいと好評で、おやきもこの時季だけのニリンソウのおやきとの事である。今回の山行の目的である戸隠蕎麦を美味しくいただき、皆さん満足そうな顔をしていた。売店で山菜やお蕎麦のお土産を買ったら帰路につき、信濃町ICから上信越道に入り岩舟支所に向かう。途中、東部湯の丸SAに寄ってトイレを済ませて買い物し、予定より早く岩舟支所に帰着した。二日間天気は今一であったが、二日間とも計画通り歩け大満足の山行となった。

告げ温泉に着き、予約した戸隠蕎麦と山菜天ぷらのセットをいただく。ほとんどの人が大盛りをオーダーし、焼き立てのおやきも食べ食欲旺盛だ。お蕎麦がとても美味しいと好評で、おやきもこの時季だけのニリンソウのおやきとの事である。今回の山行の目的である戸隠蕎麦を美味しくいただき、皆さん満足そうな顔をしていた。売店で山菜やお蕎麦のお土産を買ったら帰路につき、信濃町ICから上信越道に入り岩舟支所に向かう。途中、東部湯の丸SAに寄ってトイレを済ませて買い物し、予定より早く岩舟支所に帰着した。二日間天気は今一であったが、二日間とも計画通り歩け大満足の山行となった。